

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社鴨川グランドホテル 上場取引所 東  
 コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 健史  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)四野宮 章 (TEL)04(7094)5581  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,177	△0.1	195	△17.6	149	△21.4	127	△32.8
29年3月期第3四半期	3,180	1.3	236	△10.1	189	△14.9	189	△3.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	14.24	14.23
29年3月期第3四半期	21.19	21.18

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,449	1,191	18.4
29年3月期	6,459	1,050	16.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,187百万円 29年3月期 1,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	△2.4	120	△31.8	50	△57.9	30	△75.9	3.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	10,453,920株	29年3月期	10,453,920株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,514,075株	29年3月期	1,514,074株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	8,939,846株	29年3月期3Q	8,941,136株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、円安、株価の上昇等続くなか企業業績や雇用・所得環境に改善がみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、東アジア地域や米国の政治動向等経済へ及ぼすリスク懸念から、先行きは依然として不透明な状況も残っております。

リゾートホテル業界におきましては、海外旅行については回復傾向にあり、国内旅行も訪日外国人客等で堅調に推移しております。

そのような状況の中で当社は、販売力の強化並びに収益力の拡大を主要課題として取組んで参りました。リゾートホテル関連事業は、度重なる台風到来や団体宿泊の減少等の影響もありましたが、強化してきたインターネット販売が個人宿泊客の確保に寄与致しました。また、ビジネスホテルも訪日外国人や堅調な国内需要により高稼働を維持しました。

その結果、営業収益は3,177百万円と前年同四半期と比べ3百万円(0.1%)の減収となり、営業利益195百万円(前年同四半期比17.6%減)、経常利益149百万円(前年同四半期比21.4%減)、四半期純利益127百万円(前年同四半期比32.8%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ10百万円減少し、6,449百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ66百万円増加し、1,563百万円となりました。これは主に、現金及び預金が65百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ76百万円減少し、4,885百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が59百万円増加したものの、建物が144百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ145百万円減少し、4,530百万円となりました。これは主に、短期借入金が109百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ6百万円減少し、727百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ141百万円増加し、1,191百万円となりました。これは主に、四半期純利益127百万円の計上によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、当初公表いたしました予想に変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,184,668	1,250,095
売掛金	200,842	190,870
たな卸資産	45,882	69,512
未収入金	3,186	618
その他	65,116	54,682
貸倒引当金	△2,615	△2,470
流動資産合計	1,497,081	1,563,309
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,064,843	12,060,569
減価償却累計額	△8,788,701	△8,928,439
建物(純額)	3,276,141	3,132,129
構築物	514,609	514,609
減価償却累計額	△468,834	△471,054
構築物(純額)	45,775	43,555
機械及び装置	229,862	234,266
減価償却累計額	△170,329	△172,228
機械及び装置(純額)	59,532	62,037
車両運搬具	20,113	15,424
減価償却累計額	△19,108	△14,443
車両運搬具(純額)	1,005	980
工具、器具及び備品	845,675	847,926
減価償却累計額	△751,355	△760,093
工具、器具及び備品(純額)	94,319	87,832
土地	1,070,346	1,069,749
リース資産	137,514	145,238
減価償却累計額	△80,985	△91,585
リース資産(純額)	56,528	53,653
建設仮勘定	-	59,768
有形固定資産合計	4,603,651	4,509,706
無形固定資産		
投資その他の資産	41,689	37,545
投資有価証券	117,742	135,917
差入保証金	169,748	169,748
保険積立金	6,224	10,728
その他	32,080	30,979
貸倒引当金	△8,861	△8,861
投資その他の資産合計	316,933	338,511
固定資産合計	4,962,274	4,885,763
資産合計	6,459,356	6,449,073

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	94,102	135,873
短期借入金	3,592,150	3,482,733
1年内返済予定の長期借入金	454,150	441,274
未払金	29,621	12,462
未払費用	260,063	259,025
未払法人税等	23,854	20,000
未払消費税等	32,716	43,972
賞与引当金	46,420	23,917
その他	143,046	111,251
流動負債合計	4,676,126	4,530,510
固定負債		
繰延税金負債	10,448	15,579
退職給付引当金	138,828	143,100
役員退職慰労引当金	33,191	32,720
長期預り保証金	475,594	471,194
その他	75,080	64,460
固定負債合計	733,143	727,054
負債合計	5,409,270	5,257,564
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	△96,334	31,011
自己株式	△5,319	△5,320
株主資本合計	1,023,695	1,151,041
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24,731	36,875
評価・換算差額等合計	24,731	36,875
新株予約権	1,658	3,591
純資産合計	1,050,085	1,191,508
負債純資産合計	6,459,356	6,449,073

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業収益	3,180,488	3,177,284
営業費用	2,943,588	2,982,181
営業利益	236,899	195,103
営業外収益		
受取保険金	3,351	1,402
助成金収入	2,217	492
その他	9,920	9,695
営業外収益合計	15,489	11,590
営業外費用		
支払利息	61,934	57,092
その他	592	451
営業外費用合計	62,526	57,544
経常利益	189,862	149,149
特別利益		
受取補償金	36,760	-
補助金収入	-	8,400
特別利益合計	36,760	8,400
特別損失		
固定資産売却損	13	-
固定資産除却損	4,331	2,438
特別損失合計	4,345	2,438
税引前四半期純利益	222,277	155,111
法人税、住民税及び事業税	32,818	27,764
法人税等合計	32,818	27,764
四半期純利益	189,458	127,346

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期会計期間(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動がありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	2,578,280	510,945	3,089,226	91,261	3,180,488	—	3,180,488
セグメント利益又は損失(△)	234,179	56,825	291,004	△4,304	286,700	△49,800	236,899

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△49,800千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	2,577,288	508,886	3,086,174	91,110	3,177,284	—	3,177,284
セグメント利益又は損失(△)	211,661	41,215	252,876	△7,438	245,438	△50,334	195,103

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△50,334千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。